

また、この男の出番がやつてきた！

映画  
「二宮金次郎」  
上映会

2026年1月24日(土)  
10:00～12:00  
14:00～16:00  
小田原市尊徳記念館  
定員60名(小学生以上)  
入場無料

# 二宮 金次郎

合田雅吏 田中美里 成田浬

榎木孝明(特別出演) 柳沢慎吾 田中泯

犬山ヴィーノ 長谷川稀世 竹内まなぶ(カミナリ) 石田たくみ(カミナリ)

渡辺いっけい 石丸謙二郎 綿引勝彦

監督・五十嵐匠

脚本・柏田道夫 原作・「二宮金次郎の一生」(三戸岡道夫 栄光出版社刊) 音楽・寺嶋民哉 プロデューサー・永井正夫

製作・映画「二宮金次郎」製作委員会 万葉俱楽部株式会社／井上泰一／日本教科書株式会社／株式会社ストームピクチャーズ

特別協賛・映画「二宮金次郎」市民応援団おだわら 映画「二宮金次郎」日光市民応援委員会 大本山成田山新勝寺 株式会社コロナ 一般社団法人 日本保釈支援協会

協力・全国報徳研究市町村協議会 製作プロダクション・株式会社ストームピクチャーズ 配給・株式会社映画二宮金次郎製作委員会

©映画「二宮金次郎」製作委員会 2019 / 日本 / カラー / 113分 / アメリカンビスタ(1.85) / 5.1ch

[ninomiyakinjirou.com](http://ninomiyakinjirou.com)



小学校の校庭に必ずと言っていいほどあった金次郎像。

薪を背負って勉学に励んだあの少年が、その後、  
600以上の村の復興を手がけたことをご存知だろうか？

200年前に金次郎が辿り着き、守り抜いた思想の数々は、  
今も変わらず、私たちの中に生き続ける。

幼い頃、両親が早死にし、兄弟とも離れ離れになった二宮金次郎——。青年になった金次郎は、小田原藩主に桜町領（現・栃木県真岡市）の復興を任される。金次郎は、「この土地から徳を掘り起こす」と、“仕法”と呼ぶ独自のやり方で村を復興させようとするが、金次郎が思いついた新しいやり方の数々は、一部の百姓達には理解されるが、保守的な百姓達の反発に遭う。そんな中、小田原藩から新たに派遣された侍・豊田正作は、百姓上がりの金次郎に反発を覚え、次々と邪魔をし始める。はたして、金次郎は、桜町領を復興に導けるのか？

監督は『地雷を踏んだらサヨウナラ』『長州ファイブ』の五十嵐匠。プロデューサーと脚本は、『武士の家計簿』の永井正夫と柏田道夫のコンビが再タッグを組んだ。また、音楽は、『半落ち』で日本ア

カデミー賞優秀音楽賞受賞の寺嶋民哉、撮影は、『蝉しぐれ』で同優秀撮影賞受賞の釘宮慎治と、ベテラン映画人が集結。

主人公の金次郎を演じるのは、「水戸黄門」格さん役でお馴染みの合田雅吏。金次郎を支える妻・なみにNHK連続テレビ小説「あぐり」の田中美里、敵役・豊田正作に舞台を中心に活躍している成田浬、小田原藩主・大久保忠真役に榎木孝明、反発する百姓・五平役に、本作でシリアスな演技に驚くほどの新境地を見せる柳沢慎吾、成田山新勝寺伝説の貫主・照胤役に田中泯。さらに、金次郎の伯父・二宮万兵衛役に渡辺いっけい、服部十郎兵衛役に石丸謙二郎、斎藤平左衛門役に綿引勝彦など、ベテラン実力派俳優たちが脇を固めている。また、人気お笑いコンビ・カミナリの竹内まなぶ、石田たくみが、本作で映画デビューを飾っている。

復興に命を賭けた二宮金次郎の、  
そのドラマチックな生き様が魂を揺さぶる、感動作の誕生です。



公式サイト : [ninomiyakinjirou.com](http://ninomiyakinjirou.com)



@Hoshimovie



@Hoshimovie

## 映画「二宮金次郎」上映会

2026年1月24日(土)

小田原市尊徳記念館1階視聴覚室

10:00～12:00(開場9:30)

14:00～16:00(開場13:30)

定員60名  
(小学生以上、入場無料)

### ・申込方法

12月23日(火)8:30から尊徳記念館窓口または電話で先着順

### ・問い合わせ先

小田原市尊徳記念館(小田原市栢山2065-1)

電話:0465(36)2381